

かんきつの貯蔵病害について

かんきつ類の貯蔵病害の種類と発病要因は下記のとおりである。

病名	感染・菌の潜伏	助長要因
緑かび・ 青かび病	ほ場で果実表面に付着 貯蔵箱の汚れに残存	・収穫、運搬、貯蔵に伴う果皮の傷
軸腐病	黒点病と同一菌 果盤に潜伏	・黒点病の多発生 ・貯蔵果実の消耗
黒腐病	落花後の果頂部や果面の傷から 侵入	・開花前後の長雨 ・果皮の傷
黒斑病	ほ場で果実に侵入潜伏	・収穫前の霜害 ・貯蔵庫内の乾燥
白かび病	風雨によって果実に付着	・強風雨、降雨時の収穫
炭疽病	ほ場で感染	・日焼け ・収穫、運搬、貯蔵に伴う果皮の傷

発生を軽減させるために、果実を傷つけないように注意する。適正な貯蔵環境を保つとともに、定期的に貯蔵庫の点検を行い発病果を取り除く。